



この葉っぱいいにおい（森林教室）

近な自然環境への関心や理解を深めることを目的として、オイスカ高知県推進協議会との共催で、例年、夏休み終盤に子どもとその保護者を対象に

開催していますが、今年は年長から中学生までと年齢層が幅広く、また、例年に比べ、小学生低学年の小さなお子さんの参加が多くなりました。

まず、当局が高知市を流れる身近な鏡川をテーマにクイズを行い、あわせて「川の流れの元をたどれば山なんだよ」と伝えた後、もつ



積木教室

八月二五日、公募による親子一六組、三六名が参加した「夏休み親子ふれあい木工教室」を、当局の大



うまく作れるかな
（木工作品作製中）

と山に親しんでもらうために、樹木について、数種類の枝葉で、葉の違いや、特徴、モミとツガを代表に似ている葉の違いの見分け方などの森林教室を行いました。参加者は、あまりじつ

くりと葉等を見る機会がないように、親子で匂いを嗅いだり、手触りの違いを感じていました。「これを機に今日の樹種くらいは覚えてたいです」と真剣にメモをとってくれていた親子や、家でもつと勉強したいと、用意した



〈技術普及課〉

り、夏らしい素敵なものになりました。ぜひ、親子で折り紙でカエルを折って、楽しく遊んでもらいたいです。

その後は、オイスカのスタッフと海外の研修生達との積木教室でした。

ヒノキの間伐材で作られた積木に、温もりを感じながら、保護者も交えて、上へ上へと高く積み上げたり、横に並べたり、また、途中で崩れて残念がったり、色々な表情をみる事ができました。

最後に、オイスカスタッフが、なぜ積木が作られたかなどを、順を追って丁寧に説明し、森林や木について勉強する楽しい一日を過ごしました。

各地のたより



七月二十六日から翌二十七日

にかけて、徳島県美馬市木屋平の中尾山高原において連合徳島の主催による「親子サマーキャンプ」が開催されました。このイベントは徳島県内の親子連れを対象に毎年催されており、今年には総勢七八名が参加しました。当署からは職員八名が森林教室の講師として支援を行いました。



メッセージボード作製中

開会式の中で、当署次長より森林の大切さや山の日の制定などについて話をした後、木工クラフト班と遊歩道ウォーキング班に分かれ森林教室を行いました。

た。
木工クラフト班は七二名が参加し、メッセージボードの作業を行いました。作業開始前に当署職員より、日本や徳島県の森林の特徴や森林に住むほ乳類の話をしました。特

に、サマーキャンプ会場に近い剣山系に生息するツキノワグマの話題では高い関心を集めていました。その後、木工製作に取りかかり、参加者は思い思いのデ

ザインで自分好みのメッセージボードを完成させていました。
遊歩道ウォーキング班には六名が参加し、標高約一、七二二mの丸笹山に登りました。当日はとても天気が良く日差しが強かったのですが、その分森の中は涼しく感じられ森林の持つ



遊歩道をウォーキング中

環境調節機能を実感してもらいました。また、ウラジロモミの枝先についていた紫色の球果を見せると、参加者は興味津々の様子で写真を撮ったり匂いを嗅いだりと、普段とは違う景色の中でリラックスできたようでした。

今回の森林教室は屋内、屋外に分かれ実施しましたが、森林についての理解と木材利用の促進について考えた場合、どちらのプログラムも重要であることを再認識できました。今後実施する森林教室についても、一つ一つを丁寧に積み重ねていくことが重要と考えています。



八月六日、徳島市の沖洲学童保育ひまわりクラブにおいて小学生一〇一名を対象とした森林教室を行いました。

森林の話では、徳島県には豊かな森林がたくさんあり、多くの生きものが暮らしていること。剣山にはツキノワグマがいるが数が減っていること。一方では、ニホンジカが増えすぎて山の草木が食べられ、荒らされていることについても話をしました。

また、この様な状況では

あるが、森林には多くの木が生長しており適正に木を伐り、木を使うことも大切であること、木は、人の暮らしに役立っていることについても学んでもらいました。

その後、道具の使い方を説明し、木工教室を行いました。参加児童が多いこともあり、対象年齢に応じて、一、二年生には写真立て、三、四年生にはペン立て&鉛筆、五、六年生には時計&カレンダー作りと三班に分かれて実施しました。ペースを作り上げてから、飾りに準備してあるマスコットの材料から動物や昆虫を作っていました。時間が迫りなんとか作り終えた児童もいましたが、夢中になっ



どのマスコットにしようかな？



て一生懸命作った作品に子どもたちは、みんな満足していました。

今回の森林教室は、都市部に住む子どもたちにとって、森林についての理解と木材利用につながるその足

がかりとなる貴重な一日であつたと思います。当署としては森林や木製品に興味や関心を持ってもらえるように、今後も継続して森林教室を実施していく予定です。

森林教室（加茂児童館）



八月一日、二〇日、
二六日に徳島市内三カ所の
児童館（加茂、上八万、多



家良中央）で小学生一〇
名を対象とした森林教室
「木工クラフト」を行いま
した。

森林教室では、森林の働
きや大切さについて話を
しました。また、徳島県の
森林に住む動物の写真を見
せ、自分たちの身近な森林
でたくさんの動物が見られ
ることを話したり、特に、
ツキノワグマの話をすると
子どもたちは熱心に聞き
入っていました。エビフラ
イの形になったマツボック
リやニホンジカの皮剥被害
を受けた樹皮を見せクイズ
に答えてもらったりしまし
た。子どもたちは、どれも
興味津々に話を聞いていま
した。

飾り付けどれにしようか
な？（上八万児童館）



その後、お待ちかねの木
工クラフトです。始めに、
木工で使用する道具の使い
方を説明して、ペン立てや、
写真立ての作製にとりかか
りました。子どもたちは
あつという間にペン立て等

のベースを完成させると、
飾り付け用の材料を置いた
所で、作りたいマスコット
を選んでいました。クマや
カブトムシなど、当署が準
備したマスコットを丁寧に
作っていました。また、マ
スコット作りだけにとどま
らず、たくさんの木の実を
使ってペン立て等に飾り付
けをしたり、ポスターカ
ラーで塗りカラフルなもの
に仕上げたりと、個性が光
る作品がどんどん出来上
がっていました。

普段、徳島市内の子ども
たちは木に触れる機会が少
ないのですが、木を身近に
感じ、生活の中に取り入れ
てもらえるよう、木にじか
に触れ、ぬくもりを感じら

れる木工クラフトが、その
きっかけになればと考えて
おり、今後も引き続いてこ
のような森林教室を実施し
ていきたいと思っています。



オリジナルの写真立てでき
たよ。（多家良中央児童館）

